

新庁舎の外観案

入善町役場新庁舎(3階建て) 外観イメージ案 山側(正面)



◎外観コンセプト 「豊かな自然と調和した新庁舎」

黒部川扇状地が魅せる四季折々の情景は、先人の知恵と努力により培われ、今日に受け継がれてきた、誇るべき入善町の宝です。この黒部川扇状地の伸びやかな広がりイメージした新庁舎の大屋根は、北アルプスの美しい稜線にも呼応するなど、豊かな自然との調和と環境への配慮を目指す新庁舎の大きな特徴となっています。

新庁舎は、水の小径や田園風景など、周囲の景観との調和にも配慮したデザインとなっており、凛としたたたずまいながらも、大屋根を支える列柱と上部の壁面に丸みを持たせるほか、町民待合スペースに自然光を多く取り入れられるよう開放的なガラス窓を設置するなど、町民の皆さんが親しみやすく、利用しやすい「低層庁舎」としています。

海側



水の小径側



ザル方式により設計者を決定し、基本理念である「町民の安全・安心を確保し、誰もが使いやすく、機能的で環境に配慮した庁舎」を目指し、設計を進めてきました。

ことし3月には、基本設計が完了し、現在は実施設計において新庁舎の内・外装や設備の詳細を検討しています。

**環境負荷軽減に配慮
検討中の設備や機能**

- 設備の省エネルギー化
黒部川扇状地の地下水を生かした空調設備、大屋根や特殊複層ガラスによる日射・外気温の負荷抑制などを検討。消費電力や二酸化炭素排出量の削減を目指します。
- 再生可能エネルギーの活用
太陽光発電システムを導入し、環境負荷に配慮した電源供給を計画。脱炭素社会移行への取り組みを進めます。
- 災害・防災対応
非常用発電機の設置、太陽光発電による蓄電システムの導入、ライフライン遮断時に対応した給排水機能の確保などを検討。災害時にも庁舎機能の維持が可能な庁舎、あるいは、自立的なエネルギー供給が可能となる庁舎を計画しています。

町は、令和4年度の建設工事開始、令和6年5月の開庁を目標に役場新庁舎の整備を進めています。

このほど、その外観デザインの方向性がまとまってきました。ここでは、その概要をお知らせします。

■問い合わせ 総務課 庁舎整備推進室
7212845

町民参画のもと 新庁舎の将来像を描く

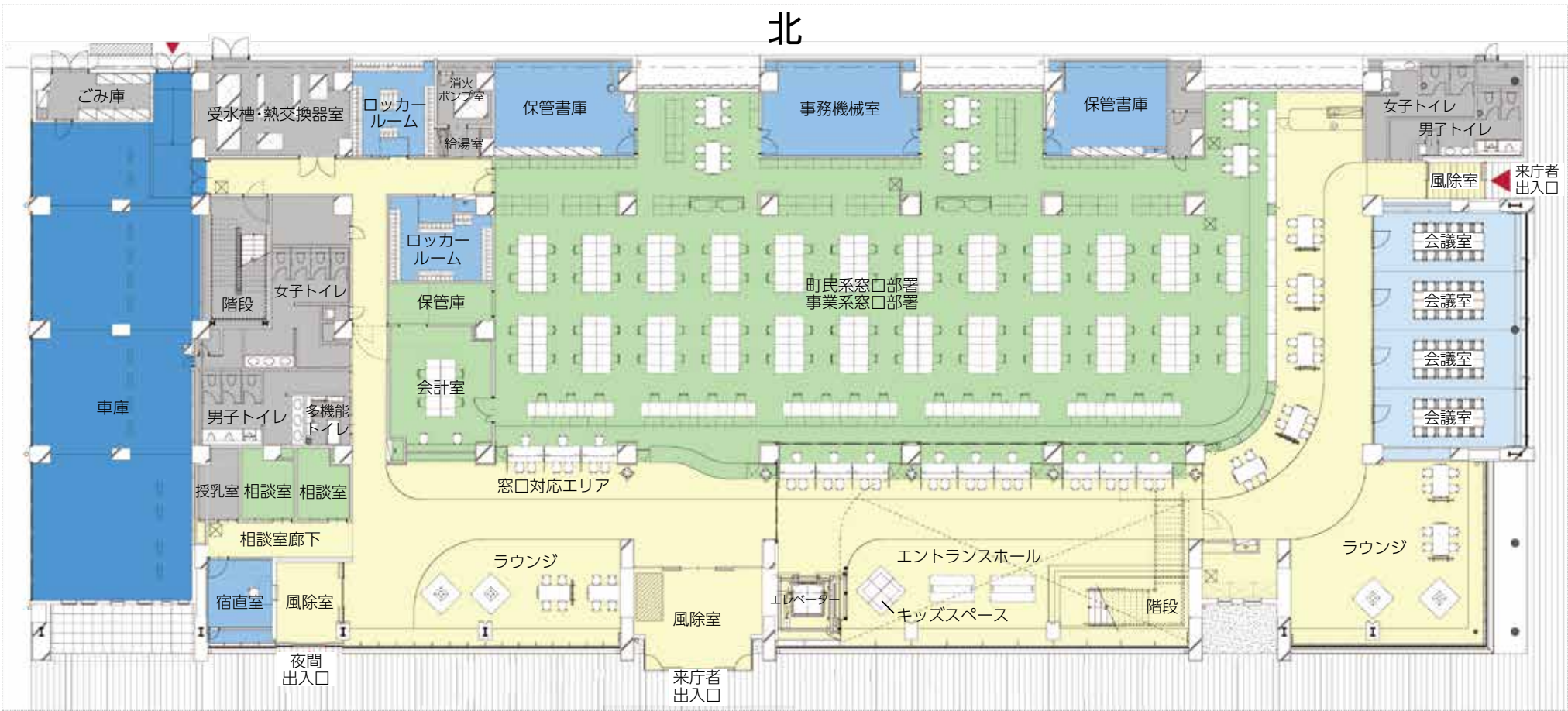
新庁舎の整備については、各方面から寄せられた意見や提言を取り入れました。

平成30年度、令和元年度には「役場庁舎の耐震化」「役場庁舎の建替え」をテーマに、まちづくり懇談会を開催し、町民の皆さんの多くの意見や要望を聴き取りました。

令和元年度は「新庁舎の整備」をテーマに「ふれあいトークにようぜん」も開催。JA青壮年部や商工会青年部員と、周辺のまちづくりも含めた意見を交換しました。

令和2年度の「新庁舎整備基本構想」の策定にあたっては、有識者、住民自治、福祉、女性、農工商業、PTAなど、町内各種団体の代表者が委員として参画し、庁舎整備の基本方針や必要な機能をまとめました。また、公募型プロポー

新庁舎の平面図案



1階 ▲町民系窓口部署と事業系窓口部署を配置。手続きや相談の多い窓口を1階に集約し、町民の誰もが利用しやすいよう、ワンフロア窓口を目指します。出入口は正面中央と正面西側、東側の3か所に設置。南側の吹き抜け空間にエントランスホールを、東西にはラウンジを設け、ゆとりのある待合スペースを確保します。

建築概要

所在地 入膳423番1ほか
面積 9,477㎡
構造 鉄筋コンクリート(一部鉄骨)造
階数 3階建て
建築面積 約2,900㎡
延床面積 約5,500㎡

整備スケジュール

令和3年度 実施設計完了
令和4～5年度 建設工事
令和6年5月 開庁(予定)

新庁舎の建築概要について
ご意見・ご提言を募集

町では、皆さんから広く意見を募集し、新庁舎設計の参考とするため、外観デザイン・平面図等の建築概要に対するパブリックコメント(意見募集)を実施します。意見募集の手続きなどの詳細は町のホームページでご確認ください。

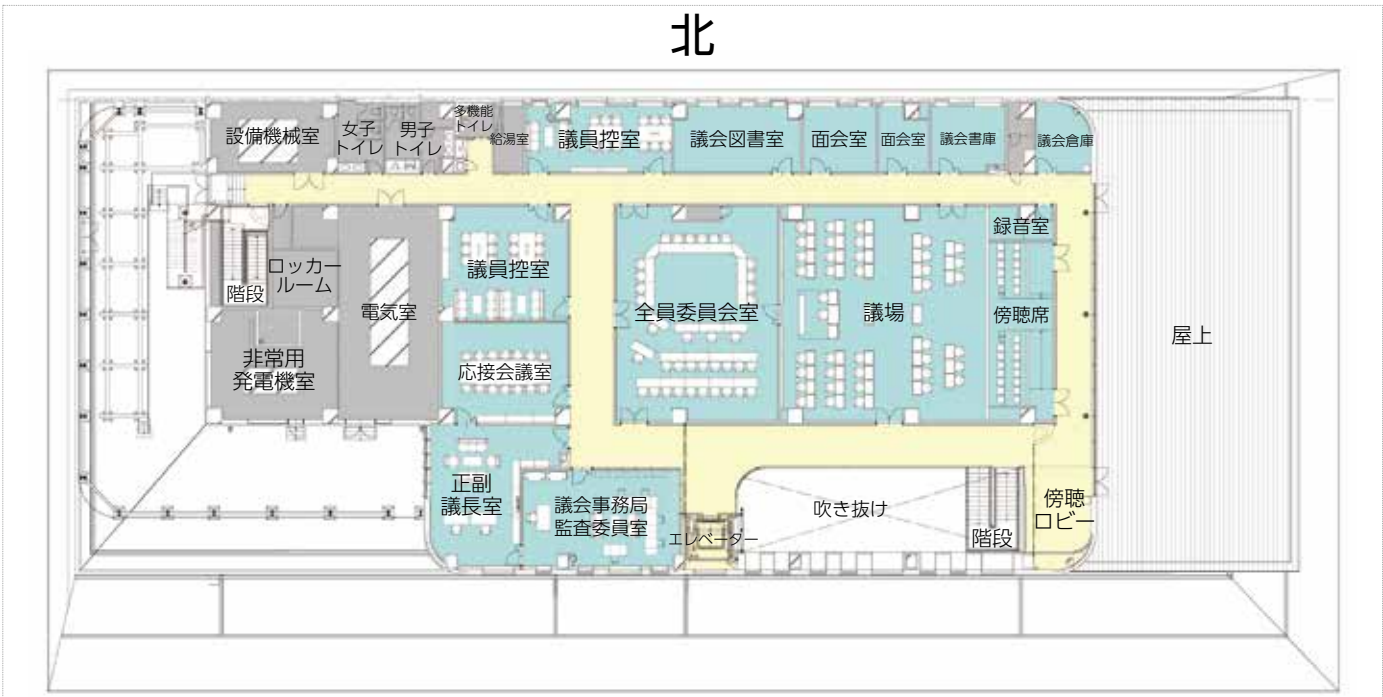
■募集期限 10月29日(金)
■公表場所 総務課、町ホームページ
■提出方法 所定の様式による郵送、メール
■問い合わせ 総務課
庁舎整備推進室 ☎72-2845



▲ホームページ

新庁舎の平面計画は、低層を生かした使いやすいレイアウトの検討を進めています。ここでは、内部レイアウト案を紹介します。

3階 ▼議会関係の諸室や非常用発電機室などを設置。議会機能を集約するほか、町民に開かれた身近な議会となるよう、誰もが傍聴しやすい議場を計画しています。



2階 ▼管理事務窓口部署と教育委員会を配置。防災対策機能を集約し、災害発生時に迅速な災害対応活動体制への移行に備えます。

